

日本舞踊三鐘流 洋妙会会主 落司妙子さん チャリティー舞踊公演 収益金寄附

日本舞踊三鐘流洋妙会会主の落司妙子さんが、6月30日に行われた「日本舞踊三鐘流洋妙会錦江町チャリティー舞踊公演」での収益金の一部を文化センター図書室へ寄附されました。落司さんは「これからも日本文化の伝承に努めていきたい。」と意気込みを話されました。いただいた寄附金は、町立図書室の書籍購入に充てられる予定です。



舞踊公演では親子3代での共演を果たされた落司さん。喜びもひとしおだったそう。84歳、まだまだ現役です。

多くの人でにぎわう会場 熱気に包まれ サマーフェスティバル in 錦江 2024

7月20日、漁業協同組合大根占支所横特設会場で錦江町夏祭り実行委員会主催の「サマーフェスティバル in 錦江2024」が開催されました。舞台では錦江舞踊連合会による踊りやフルート演奏、エラブチ剛さんの歌謡ショーなどが行われ会場を沸かせました。夏祭りの最後には花火大会が行われ、錦江町の夏の夜空を彩りました。



小学生以下の子どもたちには手持ち花火がプレゼントされ、大喜び。お楽しみ抽選会も行われ、大いに盛り上がりしました。

6年の小園隆幸さんは「細かいところのやすりが難しかった。職人さんの慣れた手つきがカッコよかった。」と話しました。



プロのクリエイター（木工職人）から技を学ぶ Creema × 神川小 ものづくり体験教室

ハンドメイド通販サイト Creema の渡部優紀さんと、クリエイターの平田悠さんによるものづくり体験教室が神川小学校で行われました。渡部さんは「今はインターネット上に低コストで自分のお店を開き、自分の作品を世界に届けることができる時代。ものづくりはどこでもできる。」と語りました。児童は平田さんにアドバイスをもらいながら、木の板から好きな形を切り出し、紙やすりで研磨。販売までを体験の一環としており、完成した作品は11月に開催予定のマルシェで販売します。

農林水産業を営む若手女性で構成する花蓮会。現在21名で活動しており、一緒に活動する会員の募集も行っています。



サマーフェスティバル in 錦江 2024 に向け 花蓮会が大根占漁港周辺の清掃を実施

7月19日に若手農業者クラブ（花蓮会）が環境美化活動の一環として、サマーフェスティバル in 錦江2024の開催に合わせ、大根占漁港周辺の清掃を行いました。昨年の神川海岸に続き2度目の実施。城下朝美会長は「ゴミがままとまっているとポイ捨てする人が増えてしまう。今回の清掃で、ポイ捨てが少なくなったり、きれいに保とうと思ったりする人がいると嬉しい。」と話しました。

「ブンブンジャーになりたい。」「プリンセスになりたい。」「おやつをいっぱい食べたい。」など、かわいい願い事が揺れる七夕飾り。来庁者の心を癒しています。



大根占幼稚園・田代幼稚園・田代こども園の園児たちが作成した七夕飾りが役場本庁と田代支所に贈られました。田代支所では、園児たちが七夕の歌を元気に披露。また、大根占幼稚園の松原悠くんと徳留伶香ちゃんは「お仕事頑張ってください」と笑顔で町長へ七夕飾りを手渡しました。

子どもたちの願いが込められた 七夕飾り 役場を彩る



安全で安心な明るい社会の実現を目指して 大根占保護司会がメッセージ伝達

犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージを7月2日、大根占保護司会が町長に伝達を行いました。今年で74回目となる地域の支え合い活動。大根占保護司会の貫見広幸会長は「町民の皆さんへ活動を認知してもらい、互いに支え合える社会の実現を目指したい」と語りました。



活動拠点となるサポートセンターを田代支所2階に設置。毎週月・水・金の9時～16時まで開設しています。



チーム戦で木製の棒を使い、ピンを倒し点数を競うモルック。激しい運動でないため、どなたでも参加できるスポーツです。



ちびっこから高齢者まで152名が参加 モルック大会 36チームが熱戦

今年で3回目を迎えたモルック大会。今年は36チーム152名が町内外から集結しました。予選を4チーム総当たり戦で行い、勝ち進んだ9チームがトーナメントで対戦。見事2位を勝ち取ったチーム「ガンバ大根占小」の山中琉希斗くんは「2位になれて嬉しい。日頃やっているソフトボールの練習の成果を出せた。みんなで焼肉を食べたい。」と笑顔で語りました。

南大隅高校だより

8月号 2024年7月19日発行

毎月のさまざまな出来事を「南大隅高校だより」に掲載し、南大隅高校の最新情報をお知らせしています。
これからも地域と共に歩む南大隅高校をよろしくお願いいたします。

絵本作家サトシンさん特別授業

7月5日(金)絵本作家サトシンさんの「やりたいことで生きてみる～「自分らしさ」を武器にして～」と題した、特別授業が行われました。特別授業を受けた生徒たちからは、「絵本は子どもだけが読むものではなく大人でも読んでいいのだと思い、また読んでみたいと思った。」や「サトシンさんの『未来の自分を応援しているのは、過去の自分』や『やる前からできないと決めない』という言葉がとても心に残り、「ムリ」と言わずに前向きに頑張っていきたい」とサトシンさんの言葉にとっても感銘を受けていました。



進路講演会

7月3日(水)進路講演会が行われました。1・2年生は、進路講話と職業別説明会に参加し、3年生は、進路講話と進路別講習を受講しました。3年生は、進学と就職に分かれ、それぞれの進路実現に向けて真剣に取り組んでいました。



交通安全教室・自己防衛対策指導



6月28日(金)「交通安全教室・自己防衛対策指導」が行われました。交通安全教室では、寿自動車学校様より「ルール」と「マナー」の違いや、自転車を運転するときに気をつける点を、スライドを使い説明していただきました。自己防衛対策指導では、錦江警察署様より不審者対策について実践を踏まえながら説明していただきました。学んだことを忘れず、被害者にも加害者にもならないように、安全を意識して行動できるようにしましょう。

南大隅町ネッピーLINE スタンプ発売!



地域連携コース2年生が作成した南大隅町公式キャラクターネッピー&ユッピーのLINEスタンプが完成しました。全16種50コインでLINEスタンプショップにて販売中です。QRコードを読み込みご購入よろしくお願いします!



鹿児島県立南大隅高等学校

〒893-2501
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北413番地
TEL(0994)24-3155 FAX(0994)24-3156



最新情報は、ホームページ・みなおブログにて更新中!

田代幼稚園年長児 岩崎木材工芸訪れ 木のぬくもりに触れる体験

田代幼稚園年長児9名が岩崎木材工芸を訪れ、木の置物づくりに挑戦しました。園児たちは、カタツムリの形に切り出した木を紙やすりで磨き、絵の具で好きな色に着色。個性あふれるカタツムリたちが完成しました。参加した池田結星ちゃんは「色ぬりが楽しかった。カタツムリの名前は「水玉ちゃん。」と嬉しそうに話しました。



初めは紙やすりに苦戦するものの、だんだん慣れてくると一心不乱に研磨する園児たち。木の感触を味わっていました。

「認知症フレンドリー事業所」第8号登録 認知症の方に癒しや生きがいを

認知症になっても安心して生活できる町を目指すためにAzu salonを「認知症フレンドリー事業所」に登録し、ステッカーを交付しました。Azu salonは、美容と医療の資格を活かし、お客様一人一人の悩みに寄り添う地域密着型サロン。サロンを経営する小脇梓さんは「認知症の方へのハンドマッサージや、スキンケア・メイク講座などで癒しや生きがいを提供できれば」と語りました。



認知症の正しい理解と認知症の方が生活しやすい工夫などを行う事業所を「認知症フレンドリー事業所」に登録しています。

約30分間、鳥浜の国道で実施。ドライバーに「安全運転お願いします」と呼びかけながら、チラシと飲み物を配布しました。



夏の交通事故防止運動 街頭キャンペーン チラシと飲み物配布 安全運転呼びかけ

7月11日、夏の交通事故防止運動の一環として、錦江警察署、錦江町交通安全協会、錦江地区安全運転管理協議会の約25名が街頭キャンペーンを行いました。鹿屋方面に向かう車に対し、チラシと飲み物を手渡し、安全運転への協力を呼びかけました。錦江町交通安全協会副会長の渡瀬博夫さんは「夏休みに入ると、子どもや高齢者の事故が増えてくるから気を付けてほしい。」と話しました。

児童たちはお手本を見ながら並べたり、自分でイメージを膨らませてタイルを組み合わせて世界に一つだけの作品を作っていました。



宿利原小 全校児童5名 タイルアートに挑戦

宿利原小学校では、図工の時間にモザイクタイルの店KOBITOS ART SHOPの瀬戸口博子さんを講師に招き、タイルアートに挑戦しました。タイルアートとは、小さなタイルを組み合わせて模様作りを楽しむもの。2時間かけて作品を完成させました。5年生の笑喜穂果さんは「ミニオンズを作った。かわいい感じができてよかった。友達とアドバイスをし合って作ったから楽しかった。」と笑顔で話しました。